

平成22年度財団法人紀南環境整備公社
第2回理事会・第2回評議員会合同会議
(平成23年2月26日(土)開催)

議事録

財団法人紀南環境整備公社

**平成22年度財団法人紀南環境整備公社
第2回理事会・第2回評議員会合同会議議事録**

- 1 開催の日時
平成23年2月26日（土） 午前11時00分
- 2 開催の場所
東牟婁郡那智勝浦町天満大字木戸浦441-8
那智勝浦町体育文化会館 2階 大集会室
- 3 出席者
別紙出席者名簿のとおり
- 4 議案
第14号議案 平成22年度財団法人紀南環境整備公社会計補正収支予算について
第15号議案 平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について
第16号議案 平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について
第17号議案 任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について
- 5 開会
事務局が、会議の開会を宣言した。

（開会挨拶）

真砂理事長が「開会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。役員及び評議員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

本日の理事会・評議員会合同会議は、平成22年度補正収支予算、平成23年度事業計画、収支予算及び評議員の選出についてご審議いただくため開催したものでございますので、よろしく願い申し上げます。

皆様ご承知のとおり、公社事業につきましては、平成18年の候補地5箇所を選定して以来、地元住民の方々から現地調査についての同意を得るまで約3年半の月日を要しましたが、昨年1月より各候補地の現地調査を進めてきたところでございます。

現地調査につきましては、地元の方々のご協力をいただきながらスケジュールどおり進めることが出来た事により、本年1月を持ちまして全ての調査を終了し、現在は、調査結果を取りまとめている段階であります。

平成23年度は、調査結果を基に最終処分場建設候補地1箇所を絞り込み、地元の方々の同意を得るという重要な年であります。

これからは、公社事業の成否を左右する重要な局面となりますが、この局面を乗り越えていくためには、役員並びに評議員の皆様のお力が不可欠でありますので、より一層のご協力をお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。」と開会挨拶を行った。

(新任役員等紹介)

事務局が、出席者についての説明を行い、その中で新任の橋副理事長、橋本理事、朝本評議員の紹介を行った。

(議長就任)

事務局が、議長選出について、理事長に議長就任を依頼したい旨提案したところ、全員異議がなかったので、理事長が議長に就任した。

(代理出席者の承認)

議長が、代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(委任の報告)

議長が、欠席者の表決の委任について、報告した。

(会議の成立)

議長が、出席者数の確認をしたところ、出席者は定足数を満たしていたので、会議の成立を宣言した。

(議事録署名人選任)

議長が、議事録署名人の選任について提案し、議長から指名することについて諮ったところ、全員異議なく、理事会からは田嶋理事、寺本理事が、評議員会からは黒田評議員、須賀評議員が選任された。

6 議事

(第14号議案の審議)

事務局から第14号議案について説明を行った。

その後、議長が、理事評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第14号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

(第15号議案及び第16号議案の審議)

議長が、第15号議案及び第16号議案は、関連議案なので、一括して審議する旨を述べ、議長の指示により、事務局が両議案について一括して説明を行った。

その後、議長が、理事評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第15号議案及び第16号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

(第17号議案の審議)

事務局から第17号議案について説明を行った。

その後、議長が、理事に対し質問、意見を求めたが特になく、第17号議案について、議長が理事に諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

7 閉会

議長が、以上を持って本日の議事をすべて終了した旨を述べ、事務局が閉会を宣言した。

午前 11 時 25 分

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成 23 年 2 月 26 日

議長 真砂 充敏



署名人 田嶋 勝正



署名人 寺本 真一



署名人 黒田 康司



署名人 須賀 節夫



平成22年度第2回理事会・第2回評議員会合同会議出席者名簿

●役員

- 理事現在数9名
- 出席理事数8名（うち代理出席者1名）
- 表決を委任した理事数1名

役名	氏名	役職名	代理出席者等
理事長	真砂 充敏	田辺市長	
副理事長	田岡 実千年	新宮市長	
副理事長	橋 一郎	田辺商工会議所会頭	欠席（表決を真砂理事長に委任）
理事	田嶋 勝正	串本町長	
理事	寺本 眞一	那智勝浦町長	
理事	橋本 明彦	すさみ町長	総務課長 堀谷 敏夫
理事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	
理事	森田 敏行	日置川町商工会会長	
理事	保田 栄一	和歌山県環境生活部長	
監事	小出 隆道	上富田町長	
監事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	欠席

●評議員

- 評議員現在数17名
- 出席評議員数15名（うち代理出席者1名）
- 表決を委任した評議員数2名

氏名	役職名	代理出席者等
朝本 紀夫	すさみ町商工会会長	
泉 庄治	本宮町商工会会長	
岩手 仁士	龍神村商工会会長	欠席（表決を花本評議員に委任）
植田 英明	みなべ町商工会会長	
大和田 隆栄	北山村商工会会長	
岡本 重之	白浜町商工会会長	
奥田 貢	北山村長	
黒田 庫司	牟婁商工会会長	
小谷 芳正	みなべ町長	
小原 周作	古座川町商工会会長	
三軒 一高	太地町長	住民福祉課長 三好 通弘
須賀 節夫	串本町商工会会長	
武田 丈夫	古座川町長	
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	欠席（表決を黒田評議員に委任）
花本 健	大塔村商工会会長	
水本 雄三	白浜町長	

平成22年度
第2回理事会・第2回評議員会
合同会議

議案書

平成23年2月26日（土）
財団法人紀南環境整備公社

目 次

第 1 4 号議案	平成 2 2 年度財団法人紀南環境整備公社会計補正収支予算について	1
第 1 5 号議案	平成 2 3 年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について	3
第 1 6 号議案	平成 2 3 年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について	5
第 1 7 号議案	任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について	7

第14号議案

平成22年度財団法人紀南環境整備公社会計補正収支予算について

平成22年度財団法人紀南環境整備公社会計補正収支予算については、次のとおりとする。

平成23年2月26日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充 敏

補正収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	補正理由
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	147		147	
② 補助金等収入				
県補助金収入	23,501	△ 8,964	14,537	実績に伴う減額
市町村補助金収入	47,308	△ 6,358	40,950	実績に伴う減額
市町村業務受託収入	51,750	△ 21,712	30,038	実績に伴う減額
③ 雑収入				
受取利息収入	8		8	
雑収入	1		1	
事業活動収入計	122,715	△ 37,034	85,681	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	73,179	△ 32,597	40,582	実績に伴う減額
普及啓発事業費支出	625	△ 267	358	実績に伴う減額
給料手当支出	21,203	△ 2,647	18,556	実績に伴う減額
法定福利費支出	4,650	320	4,970	実績に伴う増額
福利厚生費支出	92	△ 75	17	実績に伴う減額
会議費支出	0		0	
旅費交通費支出	765		765	
通信運搬費支出	0		0	
リース料支出	480	△ 163	317	実績に伴う減額
消耗什器備品費支出	146		146	
消耗品費支出	50		50	
印刷製本費支出	0		0	
車両維持費支出	400		400	
委託費支出	0		0	
雑支出	1		1	
事業費支出計	101,591	△ 35,429	66,162	
② 管理費支出				
給料手当支出	16,009	△ 877	15,132	実績に伴う減額
法定福利費支出	2,580	△ 79	2,501	実績に伴う減額
福利厚生費支出	25	△ 25	0	実績に伴う減額
会議費支出	153		153	
旅費交通費支出	448		448	
通信運搬費支出	137	10	147	実績に伴う増額
消耗什器備品費支出	100	△ 100	0	実績に伴う減額

(単位：千円)

科 目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	補正理由
消耗品費支出	61		61	
印刷製本費支出	645		645	
広告宣伝費支出	0		0	
図書研修費支出	231	△ 144	87	実績に伴う減額
諸会費支出	66	△ 66	0	実績に伴う減額
車両維持費支出	150		150	
光熱水料費支出	10		10	
賃借料支出	343		343	
リース料支出	0		0	
支払手数料支出	79		79	
租税公課支出	4		4	
支払利息支出	1		1	
雑支出	1		1	
管理費支出計	21,043	△ 1,281	19,762	
事業活動支出計	122,634	△ 36,710	85,924	
事業活動収支差額	81	△ 324	△ 243	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	72		72	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1		1	
投資活動支出計	73	0	73	
投資活動収支差額	△ 73	0	△ 73	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1		1	
財務活動収入計	1	0	1	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1		1	
財務活動支出計	1	0	1	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	2,044	0	2,044	
当期収支差額	△ 2,036	△ 324	△ 2,360	
前期繰越収支差額	7,036	324	7,360	
次期繰越収支差額	5,000	0	5,000	

(注) 1. 短期借入金の最高限度額 2,500,000円
2. 債務負担額 0円

第15号議案

平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業計画について

平成23年度財団法人紀南環境整備公社事業計画については、次のとおりとする。

平成23年2月26日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充敏

平成23年度事業計画

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1 基本方針

財団法人紀南環境整備公社（以下「公社」という。）は、紀南地域が一般廃棄物、産業廃棄物ともに最終処分機能が不足していることを鑑み、その早期解決を図るため、地域内の行政機関及び産業界により設立された団体であり、その使命を果たすため種々の取り組みを進めている。

地域内の廃棄物処理の状況を見ると、公社設立以前に比べ一般廃棄物、産業廃棄物ともに最終処分量は減少傾向にあるものの、依然として県外処理に依存している状況は変わりなく、また、地域内に残るいくつかの最終処分場についても、埋立完了時期が近づいている。

公社は、平成17年度から地域内に一般廃棄物、産業廃棄物を適正に処分出来る広域最終処分場の整備事業に取り組み、平成18年度には5箇所の候補地を選定、平成21年度に5箇所の候補地の調査同意が得られたことを受け、平成21年度から平成22年度において5箇所の候補地から最終候補地を選定するための「最終処分場候補地選定調査」を実施した。

平成23年度は、環境への十分な配慮や万全な防災対策を講じた「安全・安心な施設」の建設に向け、最終候補地の地元住民や関係団体等との合意形成を果たした上で、最終候補地を決定することを基本方針とする。

2 事業計画

(1) 広域廃棄物最終処分場整備事業

最終候補地の決定に向け、地元住民や関係団体と協議する。

- ① 説明会を開催する。
- ② 先進地視察を実施する。
- ③ その他必要な取り組みを実施する。

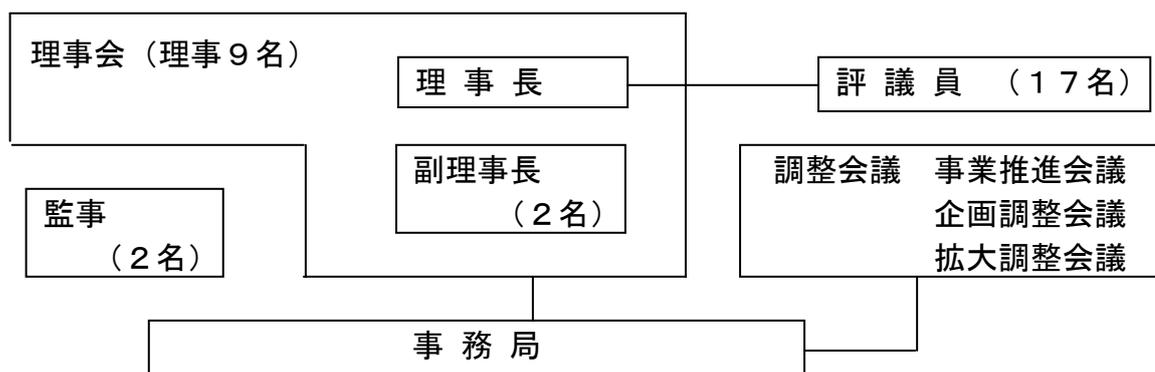
(2) 循環型社会構築に係る普及啓発事業

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会答申「紀南地域の廃棄物処理に係る適正処理方針」の達成を目指し、市町村、事業者と連携しながら必要な事業を実施する。

- ① 公社事業 PR 用 DVD 及びリーフレットを活用した住民学習会等の開催
- ② ホームページによる各種情報の発信
- ③ 各種団体や業界関係団体等との意見交換会の開催

3 組織

財団法人紀南環境整備公社組織機構



第16号議案

平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算について

平成23年度財団法人紀南環境整備公社会計収支予算については、次のとおりとする。

平成23年2月26日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充 敏

収 支 予 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	211	147	64	
② 補助金等収入				
県補助金収入	2,250	23,501	△ 21,251	
市町村補助金収入	20,636	47,308	△ 26,672	
市町村業務受託収入	0	51,750	△ 51,750	
③ 雑収入				
受取利息収入	8	8	0	
雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	23,106	122,715	△ 99,609	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	3,085	73,179	△ 70,094	
普及啓発事業費支出	1,682	625	1,057	リーフレット
給料手当支出	6,479	21,203	△ 14,724	派遣職員5名分
法定福利費支出	5,741	4,650	1,091	派遣職員5名分
福利厚生費支出	94	92	2	
旅費交通費支出	1,000	765	235	
リース料支出	420	480	△ 60	公用車リース料
消耗什器備品費支出	0	146	△ 146	
消耗品費支出	50	50	0	
車両維持費支出	553	400	153	
雑支出	20	1	19	
事業費支出計	19,124	101,591	△ 82,467	
② 管理費支出				
給料手当支出	2,387	16,009	△ 13,622	派遣職員2名分
法定福利費支出	3,088	2,580	508	派遣職員2名分
福利厚生費支出	25	25	0	
会議費支出	204	153	51	
旅費交通費支出	780	448	332	
通信運搬費支出	153	137	16	
消耗什器備品費支出	100	100	0	

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
消耗品費支出	87	61	26	
印刷製本費支出	366	645	△ 279	
図書研修費支出	111	231	△ 120	
諸会費支出	0	66	△ 66	
車両維持費支出	80	150	△ 70	
光熱水料費支出	10	10	0	
賃借料支出	343	343	0	事務所賃借料
支払手数料支出	72	79	△ 7	
租税公課支出	4	4	0	
支払利息支出	1	1	0	
雑支出	1	1	0	
管理費支出計	7,812	21,043	△ 13,231	
事業活動支出計	26,936	122,634	△ 95,698	
事業活動収支差額	△ 3,830	81	△ 3,911	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	72	72	0	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1	1	0	
投資活動支出計	73	73	0	
投資活動収支差額	△ 73	△ 73	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1	1	0	
財務活動収入計	1	1	0	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1	1	0	
財務活動支出計	1	1	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	500	2,044	△ 1,544	
当期収支差額	△ 4,403	△ 2,036	△ 2,367	
前期繰越収支差額	5,000	7,036	△ 2,036	
次期繰越収支差額	597	5,000	△ 4,403	

(注) 1. 短期借入金の最高限度額 2,500,000円

2. 次年度以降の債務負担額 0円

第17号議案

任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社評議員の選出について

財団法人紀南環境整備公社寄附行為第32条第2項の規定に基づき、任期満了に伴う財団法人紀南環境整備公社の評議員を次のとおり選出する。

なお、就任の時期については、平成23年4月1日とし、任期は平成25年3月31日までとする。

平成23年2月26日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真砂 充 敏

役名	氏名	公職名	備考
評議員	朝本 紀夫	すさみ町商工会会長	再選
評議員	泉 庄治	本宮町商工会会長	再選
評議員	岩手 仁士	龍神村商工会会長	再選
評議員	植田 英明	みなべ町商工会会長	再選
評議員	大和田隆栄	北山村商工会会長	再選
評議員	岡本 重之	白浜町商工会会長	再選
評議員	奥田 貢	北山村長	再選
評議員	黒田 庫司	牟婁商工会会長	再選
評議員	小谷 芳正	みなべ町長	再選
評議員	小原 周作	古座川町商工会会長	再選
評議員	三軒 一高	太地町長	再選
評議員	須賀 節夫	串本町商工会会長	再選
評議員	武田 丈夫	古座川町長	再選
評議員	出水 豊数	中辺路町商工会会長	再選
評議員	長井 保夫	上富田町商工会会長	再選
評議員	花本 健	大塔村商工会会長	再選
評議員	水本 雄三	白浜町長	再選